



## Contents

- 【現場だより】
- ・松山空港の工事が完成しました！
- ・東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業が着々と進んでいます！
- 西条農業高校と松山工業高校の生徒が工事現場を見学しました！
- クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港入港を決定！
- 松山ー札幌線が再開！
- 南海トラフ地震に備えて航路啓開訓練を実施しました！
- テロ対策強化に向けた港湾保安設備の合同点検を実施しました！

1年前の東予港  
(平成29年3月2日撮影)



現在の東予港  
(平成30年2月15日撮影)

## ○ 松山空港の工事が完成しました！

現場だより

松山空港は、国内線8路線、国際線2路線が就航する中四国で最も旅客数の多い空港です。当事務所では、年数が経過している施設の老朽化対策や、大規模地震発生時に空港が緊急物資・人員輸送の拠点として利用できるように今年度は耐震対策を実施しました。

飛行機が駐機するエプロンでは、老朽化した一部の舗装を撤去し、新しいものに打換える工事を行いました。また、地下道や護岸では、大規模地震発生時においても飛行機が離発着できるように耐震補強工事を行い、地下道は鉄板等による補強、護岸は周辺の土砂を土砂より軽い材質に置き換える工事を行いました。



エプロン舗装工事



地下道の耐震補強工事



護岸の耐震補強工事

空港内の工事は、空港運用に影響がないよう、周辺住民の皆様のご理解とご協力を得て夜間作業で行いました。地下道の工事も同様です。夜間を通行止めらせて頂き工事を実施し、安全に施工することができ耐震補強工事が完成しました。



工事実施場所

## ○ 東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業が着々と進んでいます！

東予港は、四国で唯一、大阪港とのフェリー航路が毎日就航しており、愛媛県と阪神地域を結ぶ物流拠点として、産業活動及び地域の物流を支えています。本事業により、貨物量の増加と船舶の大型化に対応するとともに、耐震強化岸壁の整備により、大規模地震発生後すぐに緊急物資等を海上から搬入することが可能となります。

現在は、ケーソン上に上部工、防舷材等の付属工の取付工事を行っています。また、フェリーから自動車乗り降りする際に利用する、可動橋の基礎工事や本体の製作工事を行っています。

平成30年夏の供用開始を目指し、安全第一で工事を進めています。



上部工工事



可動橋基礎工事



可動橋製作状況

## ○ 西条農業高校と松山工業高校の生徒が工事現場を見学しました

### 【開催日と見学した学校】

- ・1月24日(水)愛媛県立西条農業高等学校 環境工学科 2年生 12人
- ・1月25日(木)愛媛県立松山工業高等学校 土木科 1年生 40人

現在、当事務所が整備を進めている東予港複合一貫輸送ターミナルの工事現場を、県内の高校2校が見学しました。

見学会は、東予港の役割や東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業の事業概要説明後、現場の見学を行いました。現在、東予港では、ケーソンに上部工、防舷材の取付等を行っており、学生は初めて見る港湾工事に驚いていました。フェリーから自動車 yang 乗り降りする際に利用する可動橋を取り付けるための基礎工事も行っており、学生が業者の方に熱心に質問している光景も見られました。教科書では学ぶことのできない実際の工事現場を見学し、建設業界にとっても関心を持ってもらうことができました。



東予港の役割と事業概要説明



工事現場の見学

また、見学会の最後には、「国土交通省に入省するにはどのような勉強をしたらいですか」「勉強はいつごろから始めましたか」などの質問もあり、建設業界だけでなく私たち行政の仕事にも、興味が湧いたようでした。

## ○ クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港入港を決定！

今年度から、四国地方整備局では、関係行政機関、商工団体、そして観光や交通関係者等で構成した「四国における瀬戸内海クルーズ振興検討会」において、クルーズ船の寄港拡大に向けた課題を整理するとともに、その対応策を検討するなどクルーズ振興の取組みを進めてきました。その結果、世界有数のクルーズ船運航会社プリンセス・クルーズ社が運航する「ダイヤモンド・プリンセス」の平成31年新寄港地として、松山港が選定されました。松山港の背後には、道後温泉や松山城といった観光地をはじめ、瀬戸内の魚や柑橘などの食が豊富にあり、クルーズ船で訪れた方が十分に満足できるのではないかと思います。



### ☆ダイヤモンド・プリンセスの諸元☆

乗客定員	2,706人
乗組員	1,100人
総トン数	115,875GT
船長	290m
海面からの高さ	54m

## ○ 松山一札幌線が再開！

平成23年10月末から運休していた松山一札幌(新千歳)線が、3月25日から1日1往復で再開されました。本路線は、四国と北海道を結ぶ唯一の定期路線となります。観光やビジネスなどで多く利用して頂くことにより、交流人口拡大や地域経済の活性化が期待されます。



### ☆運航ダイヤ☆

松山空港発	11:35	→	新千歳空港着	13:45
新千歳空港発	14:30	→	松山空港着	16:45

## ○ 南海トラフ地震に備えて航路啓開訓練を実施しました！

平成30年2月8日、大規模災害発生時に緊急物資輸送を速やかに行えるよう、海上保安部、港湾管理者及び港湾関係団体等と合同で航路啓開机上訓練を実施しました。

机上訓練は、「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」に基づき、緊急確保航路、開発保全航路及び防災拠点港の航路啓開の方針、手法についてDIG訓練\*を実施しました。

本訓練を通して、各関係機関の役割を互いに認識して行動することにより、緊密な連携と迅速な対応が可能となることを確認しました。今後も実効性を高めるために、更なる訓練を実施していきたいと考えております。

※DIG訓練・・・大きな地図をみんなで囲み、与えられた被害状況を把握し対応について討議しながら、最善策を導き出していくロールプレイング型の訓練です。



DIG 訓練の様子

## ○ テロ対策強化に向けた港湾保安設備の合同点検を実施しました！

国際的な連続テロ事案の発生や、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控えていること等を踏まえ、人や物の流れの拠点である港湾においても、水際でのテロ対策強化が重要となっています。

平成30年2月15日、今治港におけるテロ対策の強化に向けて、今治海上保安部や今治警察署等関係機関と連携して、港湾保安設備の合同点検を実施しました。本訓練は、四国地方整備局管内では初めてとなる取り組みとなります。ふ頭内に設置されているフェンスの損傷有無や監視カメラなどの保安設備が正常に機能しているか点検を行いました。点検後は、各関係機関との意見交換を行い、テロが起きた場合を想定し、その際の迅速な情報共有と対応について確認しました。



◀ 港湾保安設備の合同点検の様子

### 編集後記

日に日に暖かくなり、春が近づいていることを感じます。去年の今頃は新しい職場に期待と不安で胸を膨らませていたのを懐かしく感じます。この一年でいろいろな経験をすることができました。私にとってはどれも刺激的で充実した一年でした。

私事ですが、実家の近くに梅が綺麗に咲き渡りました。梅の花に春の訪れを感じ、早や一年が経過し、この一年を振り返りました。一年前より少し成長した自分を感じることができました。

企画調整課 中矢

### < 事務所のご案内 >

#### ■ 松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058 松山市海岸通2426-1 【TEL】089-951-0161 【FAX】089-946-8010

#### ■ 東予港出張所

〒799-1353 西条市三津屋南2-15 【TEL】0898-64-3650 【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.34 編集・発行 (紙面編集/須賀)



国土交通省四国地方整備局  
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail (企画調整課)】 pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp

【URL】 <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html>

【海とみなとの相談窓口】 0120-497-370 (全国共通フリーダイヤル)

受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)

